

日本医史学雑誌 第58巻 総目次

原 著

『阿蘭陀経絡筋脈臟腑図解』の翻訳書としての不完全さ

- 訳出されなかった語の視点から—— …………… 計良 吉則, 酒井 シヅ 3
- 厥の原義とその病理観
- 扁鵲による號の太子の治療の意義—— …………… 鈴木 達彦, 遠藤 次郎 15
- 蕎麦に関する日中両国の認識の差異
- 古典医書を中心に—— …………… 辰巳 洋, 丸井 英二 29
- 仏教文献『療痔病経』の背景について
- …………… 山中 行雄, 山下 勤, 赤羽 律, 室屋 安孝 39
- お玉ヶ池種痘所の設立に参加した上山藩医 奥山玄仲 …………… 深瀬 泰旦 301
- イブン・ナフィースの血液理論再考…………… 矢口 直英 309
- エフェドリンの歴史
- 歴史遺産と現代社会への影響——…………… 齋藤 繁 321
- 「哺乳瓶の子」それとも「おっばいの子」?
- 20世紀ドイツにおける乳児保護, 乳児の栄養状態と乳児死亡——
- …………… イェルク・フェーゲレ, 訳: 梅原 秀元 331
- 『史記』倉公伝における医学理論の検討 …………… 鈴木 達彦, 遠藤 次郎, 花輪 壽彦 345
- プールハーフェ (1668~1738) の『医学教程』…………… 坂井 建雄, 澤井 直 357
- 晩年の存覚と『看病用心鈔』の書写…………… 小山 聡子 373
- 日本における食塩水皮下注入から静脈内持続点滴注入法の定着までの歩み
- …………… 岩原 良晴 437
- 明治初期日本における医療情報の伝達
- 西南戦争・コレラと皮下注射法の普及—— …………… 月澤美代子 457
- 上山藩医 奥山玄育と荻野元凱 …………… 深瀬 泰旦 471

シンポジウム「富士川游先生と富士川英郎先生」

1. 富士川游先生のこと …………… 岡田 靖雄 485
2. 富士川英郎と日本医史学 …………… 富士川義之 487
3. 富士川游 “醫箴” “醫五不可” の心を現代医療に役立てる …………… 桑原 正彦 489
4. 京都大学附属図書館「富士川文庫」と安藤昌益研究 …………… 石渡 博明 491

ひろば

- 台湾の医学史の本で見られる“日本” …………… 王 敏 東 53
- 《特別寄稿》日本泌尿器科学会 100周年を迎えて
- 日本泌尿器科学会創設者 朝倉文三先生の足跡と学生名簿の謎 …………… 保坂 義雄 59
- 文献にみる砥石——医療器械の研磨に使用された砥石—— …………… 高岡 真美 67

ガレノスと古代ギリシア・ローマ医学史研究の現在 ——ガレノス『解剖学論集』の刊行によせて——	今井 正浩	385
適塾記念会 緒方洪庵全集編集委員会 編 『緒方洪庵全集』第一巻・第二巻（『扶氏経験遺訓』上下） ——刊行によせて——	浅井 允晶	389
京都大学整形外科教室初代教授 松岡道治の生い立ち	廣谷 速人	393
資 料		
華岡鹿城末裔所蔵の「華岡門人録」について (1)	梶谷 光弘	75
フランス人医師ヴィダルの報告「日本の温泉」	須長 泰一	85
池田文書の研究 (42)	池田文書研究会	93
華岡鹿城末裔所蔵の「華岡門人録」について (2)	梶谷 光弘	401
池田文書の研究 (43)	池田文書研究会	411
華岡鹿城末裔所蔵の「華岡門人録」について (3)	梶谷 光弘	493
池田文書の研究 (44)	池田文書研究会	503
記 事		
消 息		
第20回日韓東洋医学シンポジウム …………… 松岡 尚則, 頼 建守, 山口 秀敏, 笛木 司, 並木 隆雄		513
例会記録		103, 421, 515
例会抄録		
お玉ヶ池種痘所あれこれ	深瀬 泰旦	103
切手で迎える薬学の歴史	平林 敏彦	104
占領期における日本の看護改革 ——保健婦助産婦看護婦法改正をめぐる——	田中 幸子	106
『口歯類要』における口歯の意味的考察	西巻 明彦	107
新たに判明した忠犬ハチ公の死因について	中山 裕之	108
東京・青山霊園ハルツホルン (Henry Hartshorne: 華爾都保崙; 乞治呵倫) の墓 ……………	樋口 輝雄	421
先輩たちの筆跡	岡田 靖雄	423
書 評		
横田陽子著『技術からみた日本衛生行政史』	渡部 幹夫	109
青木歳幸編『小城の医学と地域医療——病をいやす——』	深瀬 泰旦	110
宝月理恵著『近代日本における衛生の展開と受容』	瀧澤 利行	112
田口喜久恵著『近代教育黎明期における健康教育の研究』	瀧澤 利行	113
新村拓著『国民皆保険の時代——一九六〇, 七〇年代の生活と医療——』 ……………	宮武 光吉	425

香月牛山原著, 中村節子翻刻・訳注

『老人必用養草——老いを楽しむ江戸の知恵——』……………	平尾真智子	426
坂井建雄編『日本医学教育史』……………	神津 忠彦	427
寺澤捷年著『吉益東洞の研究——日本漢方創造の思想——』……………	安井 廣迪	515
太田由佳著『松岡恕庵本草学の研究』……………	岩間眞知子	517
橋本明著『精神病者と私宅監置——近代日本精神医療史の基礎的研究——』……………	岡田 靖雄	518
神谷昭典著『植民地医育論——台湾, 朝鮮, “満蒙地域”を中心として——』……………	泉 孝英	521

書籍紹介

佐賀大学・佐賀学創成プロジェクト編

『佐賀学 佐賀の歴史・文化・環境』……………	澤井 直	115
小高健著『日本近代医学史』……………	澤井 直	116
G. ベルトナー著, 枅形公也監訳『医療倫理学の基礎』……………	澤井 直	116

医史学関係文献目録(平成22年, 2010年)……………	順天堂大学医史学研究室編	245
------------------------------	--------------	-----

投稿規定……………	118, 294, 430, 523
-----------	--------------------

編集後記……………	120, 296, 432, 525
-----------	--------------------

第113回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

プログラム

会長講演

獨協医科大学の「温故知新」……………	寺野 彰	131
--------------------	------	-----

特別講演

I 獨逸学協会学校の転換——法律学校から医学予備門へ——……………	新宮 讓治	133
II 「転機」を超え, 今に生きる医史を……………	小出 五郎	135

ランチョンセミナー

看護のあゆみ——トレインドナース 大関和——……………	加藤 光寶	137
-----------------------------	-------	-----

市民公開シンポジウム「とちぎ・メディカルヒストリー」

1 石崎家の医療史……………	石崎 道治	139
2 『報徳全書』にみる齋藤玄昌について ——二宮尊行の二児に早期種痘——……………	中野 正人	140
3 感染症と闘った医師たち——塩谷地区の例から——……………	岡 一雄	141
4 栃木(県)医学校の推移……………	日野原 正	143

5	女性看護師の初穂 ——壬生養生局からトレインドナース大関和——	加藤 光寶	144
6	栃木県歯科事情——栃木県歯科医師会創立まで——	牟田 紀一	145
一般演題			
1	江戸幕府と日光の医療	本田 幹彦, 中西 公司, 本田 雅巳, 石川美知子, 緑川由紀夫, 原澤 寛, 中元 隆明	147
2	江戸後期の岡山県邑久郡周辺における地域医療研究 ——中島家文書をもとに——	松村 紀明, 木下 浩, 梶谷 真司, 鈴木 則子	148
3	中島友玄の京遊備忘 其の一 ——京都での文人・儒者との交流——	中島 洋一	149
4	中島家蔵書資料について	清水 信子	150
5	アプー・バクル・アッ=ラージー (ラーゼス) のガレノス批判	矢口 直英	151
6	Ibn Nafis は人体解剖をしたか?	藤倉 一郎	152
7	ガスパール・ポアンの人体構造の記述における命名法と分類法	澤井 直	153
8	17世紀における筋運動の原理の探求 ——ニコラウス・ステノによる筋の幾何学的記述——	安西なつめ, 澤井 直, 坂井 建雄	154
9	ブルーハーフェ (1668-1738) の『箴言』における疾患概念について	坂井 建雄	155
10	チアジド系利尿剤の副作用の歴史 ——配合利尿剤の副作用の経験から——	藤岡 彰, 藤岡 和美	156
11	ミドルセクス病院・医学校の軌跡	柳澤 波香	157
12	ポツリヌス治療の原点 ——ドイツ人医師J・ケルナーによる190年前の予見——	澤田麻衣子	158
13	満洲語西欧薬品使用マニュアル『西洋薬書』について	渡辺 純成	159
14	シェイクスピアの時代の薬剤師と『ロミオとジュリエット』	遠藤 花子	160
15	緒方洪庵と適塾に宿るフーフェラントの精神 ——日独交流150周年をふりかえって——	鈴木 重統	161
16	南蛮渡来のポルトガル医療が、江戸時代の医学に与えた影響について	葉山美知子	162
17	緒方惟準による解剖学講義ノートについて	島田 和幸	163
18	済生学舎廃校宣言に到るまでの長谷川泰に対する 山県有朋の政治的圧力	殿崎 正明, 唐沢 信安, 山本 鼎, 幸野 健, 志村 俊郎	164

- 19 小金井良精と長谷川泰…………… 幸野 健, 唐沢 信安,
殿崎 正明, 山本 鼎, 志村 俊郎 165
- 20 廃校寸前となった日本医学専門学校の学校騒動への
山県有朋・入沢達吉等の圧力 …………… 山本 鼎, 唐沢 信安,
殿崎 正明, 幸野 健, 志村 俊郎 166
- 21 女医丸茂むねの一生と明治期の女子医学生達の教育
…………… 志村 俊郎, 唐沢 信安, 殿崎 正明,
山本 鼎, 幸野 健, 寺本 明 167
- 22 佐藤精一郎と東京医学院…………… 樋口 輝雄 168
- 23 妙鍼流からの影響を色濃く示す新資料『杉山流伝法地巻』
…………… 大浦 宏勝, 市川 友理 169
- 24 『橘窓書影続編』の所在と『橘窓書影』編纂過程について …………… 渡辺 浩二 170
- 25 後世方派の刊行著作数について…………… 山田 恵美 171
- 26 『福田方』の鍼灸 …………… 寺川 華奈 172
- 27 曲直瀬道三の‘運氣論’研究…………… 町 泉寿郎 173
- 28 曲直瀬玄朔自筆処方集の研究
…………… 星野 卓之, 天野 陽介, 小曾戸 洋, 花輪 壽彦 174
- 29 曲直瀬玄朔の医書出版
——『医学正伝』について—— …………… 天野 陽介, 小曾戸 洋 175
- 30 曲直瀬道三の『鍼灸集要』について…………… 木場由衣登 176
- 31 中国伝統医学と道教(第32回 道教医学の歴史)…………… 吉元 昭治 177
- 32 森鷗外『小嶋寶素』と小島尚綱『日新録』…………… 多田 伊織 178
- 33 江戸時代の「被膜胎」をめぐる社会文化…………… 内野 花 179
- 34 『留真譜』の医部について …………… 竹内 尚 180
- 35 本居宣長『送藤文輿還肥序』における『黄帝内経』関連用語の分析
…………… 吉川 澄美 181
- 36 中国鍼灸歌賦について…………… 浦山 きか 182
- 37 『万病回春病因指南』の成立過程と構成 …………… 渡部 栄輝 183
- 38 近世後期の秋田院内银山における医療環境
——『門屋養安日記』を手がかりとして—— …………… 藤本 大士 184
- 39 『家庭衛生及び治病』(大正4年刊)にみる高木兼寛の医療観
…………… 蝦名 總子, 平尾真智子, 芳賀佐和子 185
- 40 『看病手引歌』(文政10年刊)にみる仏教思想に基づく看護
…………… 平尾真智子, 中村 節子 186
- 41 日本初の女性看病人誕生の背景
——戊辰戦争時壬生の看病人—— …………… 日下 修一 187
- 42 欧米諸国の看護婦の紹介記録の歴史を辿る
——幕末から明治初年—— …………… 鈴木 紀子 188

- 43 第二次世界大戦における日本赤十字社救護看護婦の活動
——ビルマ派遣の救護班に焦点を当てて—— …………… 川原由佳里 189
- 44 近代看護婦は終末期看護をどうとらえていたか（第1報）
—— 8人が著した看護書から——
…………… 上坂 良子, 水田真由美, 松本 知子 190
- 45 昭和22年刊「公衆衛生叢書全7輯」について …………… 渡部 幹夫 191
- 46 占領期の日本におけるGHQ/SCAP/PHWの組織と職員の変遷に関する考察 …………… 杉田 聡, 田中 誠二, 丸井 英二 192
- 47 戦後精神医療史の再検討(2) 精神障害者家族会の盛衰…………… 橋本 明 193
- 48 戦後占領期における天然痘の流行と対策
…………… 田中 誠二, 杉田 聡, 丸井 英二 194
- 49 「東京府下死亡一週表」等の新資料にみる明治中期東京の週(月)・年齢・地区別死亡 …………… 逢見 憲一 195
- 50 信濃衛生会発行による月刊『信濃衛生』について…………… 湯本 敦子 196
- 51 日露戦争期の広島予備病院の患者を取り巻く環境
——本院と分院の比較——
…………… 坂村 八恵, 岡本 裕子, 隅田 寛, 千田 武志 197
- 52 渡辺清絵日記に見る明治期の農村の医療衛生事情
…………… 岡 一雄, 戸村 光宏 198
- 53 新出の写本「遁花秘訣」(山岸本)について
——白鳥雄蔵, 板垣利斎, そして津軽との接点—— …………… 松木 明知 199
- 54 野田光蔵と『満洲植物誌』…………… 郭 秀梅 200
- 55 眼科手術器具の変遷について…………… 園田 真也 201
- 56 明治初期日本における医療情報の移入と伝達
——西南戦争と皮下注射法の普及—— …………… 月澤美代子 202
- 57 高松凌雲(1836-1916)が創立した「同愛社」について …………… 小林 晶 203
- 58 大久保忠寛の「病幼院創立意見」(安政4年)と
東京府病院(明治6~14年)について…………… 稲松 孝思, 松下 正明 204
- 59 福島甲種医学校助教諭 村地研三『裁判医学』講義中の精神病学
…………… 岡田 靖雄 205
- 60 釜山済生医院…………… 金川 英雄 206
- 61 鶴見三三教授と国際聯盟保健委員会報告…………… 青木 國雄 207
- 62 黄疸出血性レプトスピラの発見により,
ノーベル賞候補に推薦された井戸 泰(1881-1919)…………… 佐藤 裕 208
- 63 九州大学耳鼻咽喉科学教室初代教授 久保猪之吉の業績
——第1報 “同門の語り”にみられる久保像——
…………… 丸山マサ美, 小宗 静男, 吉田 眞一,
下川 元継, 副島 忠弘, 末松 孝文 209

- 64 九州大学耳鼻咽喉科学教室初代教授久保猪之吉
——第2報 同門の語りにもられる“医の倫理”——
……………丸山マサ美, 小宗 静男, 吉田 眞一,
副島 忠弘, 末松 孝文, 下川 元継 210
- 65 郡上の植疱瘡……………森永 正文 211
- 66 「解体新書」扉絵を画かせた人物をめぐって……………板野 俊文 212
- 67 オットー・モーニッケの教えた最新の西洋医学……………相川 忠臣 213
- 68 幕末在村医と天然痘
——栃木県塩谷町道下村青木家文書から——……………戸村 光宏, 岡 一雄 214
- 69 いわゆる『儒醫』についての考察——初探……………田中 祐尾 215
- 70 奥田謙蔵の家譜の調査……………松岡 尚則, 栗林 秀樹, 別府 正志,
山口 秀敏, 中田 英之, 岩井 祐泉,
並木 隆雄, 秋葉 哲生, 牧角 和宏, 三浦 於菟 216
- 71 華岡青洲14種の膏葉と李靖十二辰陣……………鈴木 達彦, 足立理絵子 217
- 72 麻沸湯論——世界で最初の臨床麻酔の教科書は日本で著された!
……………土手健太郎, 長櫓 巧 218
- 73 『金匱要略』大黃黄連瀉心湯条における「心気不足」に関する考証
……………荘 明仁 219
- 74 「温疫論」と伝染概念……………西巻 明彦 220
- 75 『皇漢医学』における「鬱」の用法……………大道寺慶子 221
- 76 陽虚としての盗汗について……………吉岡 広記 222
- 77 紹興本『素問』と王継先……………真柳 誠 223
- 78 研医会図書館所蔵の森立之稿本『千金方疏証』……………安部 郁子 224
- 79 幻の宋版『孫真人玉函方』——金沢文庫旧蔵本
……………小曾戸 洋, 長野 仁, 星野 卓之, 天野 陽介 225
- 80 熊慶笏の著作について……………宮川 隆弘 226
- 81 劉完素と『西山記』……………奥野 繁生 227
- 82 『診脈口伝集』の脈法……………中川 俊之 228
- 83 『古今医統大全』の鍼灸について(第2報)……………田中利江子 229
- 84 『鍼灸資生経』の引用文献について……………足立 美穂 230
- 85 『骨度正誤図説』について……………鶴田 泰平 231

誌上発表

- 86 『かなめいし』の中の身体に関する語……………計良 吉則 232
- 87 神農伝説成立の経緯の考察……………岩間眞知子 233
- 88 『経穴密語集』について……………橋本 史代 234
- 89 『意心流百病指南』について……………岩田源太郎 235
- 90 『天中記』に見える医経の引用について……………橋本 典子 236

91 『隧穴啓蒙』について	山崎 陽子	237
92 『外科百効全書』の鍼灸	上田 善信	238